

TOKYO COLLEGE OF MUSIC
High School
2012

平成24年度
入学試験要項

東京音楽大学附属高等学校

目次

〔一般入学試験〕

募集人員	2
募集専攻	2
出願資格	2
願書提出	3
入学試験	4
入学試験日の各科目試験時間	4
受験者注意事項	5

入学試験科目と課題曲

(第1学年)

1. 各専攻共通試験科目	6
2. 各専攻別試験科目	6
声乐	6
器楽 ピアノ	7
ピアノ演奏家コース	7
ヴァイオリン	8
ヴィオラ	9
チェロ	9
コントラバス	9
ハープ	10
クラシックギター	10
フルート	10~11
オーボエ	11
クラリネット	11
ファゴット	11
サクソフォーン	12

器楽 ホルン	12
トランペット	12
トロンボーン	12
チューバ	12
ユーフォニアム	13
打楽器	13

作曲	13
3. 併願の試験科目について	14
4. 音楽総合コース	14~15

(第2学年編入)

1. 各専攻共通試験科目	16
2. 各専攻別試験科目	16
声乐	16
器楽 ピアノ	17
ピアノ演奏家コース	17
弦・管・打楽器	17
作曲	17
併願の試験科目について	17

合格者発表	18
入学手続	18
学費	18
奨学金制度について	19
学生寮(女子)について	19
教育充実協力金について	19
〔推薦入学試験〕	20~22

一般入学試験

募集人員

第1学年 _____ 60名（男女）

第2学年 _____ 若干名（男女）

募集専攻

声楽

器楽

ピアノ

ピアノ演奏家コース

ヴァイオリン

ヴィオラ

チェロ

コントラバス

ハープ

器楽

クラシックギター

フルート

オーボエ

クラリネット

ファゴット

サクソフォーン

ホルン

トランペット

器楽

トロンボーン

チューバ

ユーフォニアム

打楽器

作曲

音楽総合コース（第1学年のみ）

※器楽：ピアノ演奏家コース・エクセレンスは募集しない。

出願資格

第1学年

中学校卒業者及び平成24年3月卒業見込みの者

第2学年編入

高等学校第1学年修了者及び平成24年3月修了見込みの者

願 書 提 出

1. 受付期間

願書の受付は郵送のみとする。

受付期間 平成24年1月25日（水）～2月4日（土）

2月4日までの消印のあるものを有効とする。その際、一般入学試験・入学願書郵送用封筒を参照のこと。

2. 出願手続

出願先：東京音楽大学付属高等学校入試係

〒112-0014 東京都文京区関口3-12-1

下記の書類を高校入試係に郵送すること。受験票は入試係より速達にて郵送するが、試験日の3日前になっても届かない場合は、氏名、専攻名、出願書類の投函日、電話番号を明らかにして下記へ問い合わせること。

[問い合わせ先] 入試係：TEL 03（3945）6214（直通）

受験料35,000円は郵便局にて「払込取扱票・振替払込請求書兼受領証」により納金し、「振替払込請求書兼受領証」を受領し、願書の「振替払込請求書兼受領証貼付欄」に貼り付けること。（「振替払込請求書兼受領証」のコピーでも可）

(1) 入学願書（一般入学試験）・受験票・振替払込請求書兼受領証（本校所定）

(2) 出身中学校において作成する調査書（本校所定）

※推薦入学試験（20～22頁参照）を受験する者で再度一般入学試験を受験する場合は、推薦入学試験出願手続にて提出するので一般入学試験では提出する必要はない。

(3) 写真（3か月以内に撮影した正面上半身脱帽、縦4cm、横3cmのもの、カラー又は白黒いずれでも可、願書と受験票にそれぞれ貼付すること）

(4) 第2学年編入志願者は、上記（1）・（2）・（3）に加えて、高等学校の在学証明書及び成績証明書を提出すること。

(5) 専攻別曲目記入票（一般入学試験）（本校所定）

専攻実技の曲目記入票、及びピアノ副科が課題としてある場合は、ピアノ副科の曲目記入票も提出すること。

作曲専攻の専攻実技は全て指定課題なので、専攻実技の曲目記入票は提出不要。一部の管楽器についても、同様に提出不要の楽器がある。詳しくは専攻別曲目記入票欄（巻末）を参照すること。

第二志望を併願する場合は、志望する専攻の記入票も提出すること。

(6) 伴奏譜（音楽実技受験者のみ）

(7) 返信用封筒（350円切手貼付、住所・氏名を記入）

※個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された個人情報と入学試験成績については、入学試験業務を行うため、及び入学後の適正な教育活動を遂行するためだけに利用し、それ以外の目的では一切使用いたしません。

また、入学手続書類の発送業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託します。

入 学 試 験

試験場：東京音楽大学（豊島区南池袋3-4-5）

(1) 期 日 平成24年2月11日（土）・12日（日）

(2) 選考方法

●筆記試験

●実技試験

●面接（11日保護者、12日受験者）

(3) 試験初日、受験者は保護者と共に登校し、午前8時30分までに受け付けを済ませること。

（受付場所：A館1Fロビー）

登校の際、受験票、筆記用具を持参すること。

昼食は学内食堂を利用できるが、混雑が予想されるので、なるべく持参すること。

入学試験日の各科目試験時間

※音楽総合コース受験者は右頁を参照のこと。

2月11日（土） 午前 8:30～午後 4:30

受 付

午前 8:10～8:30

ガイダンス

8:30～

試 験

楽 典

午前 9:00～ 9:50

英 語

10:05～10:55

聴 音

11:10～11:40

国語または数学

午後12:50～ 1:40

コールユーブンゲン・ピアノ副科

2:30～ 4:30

面接（保護者）

午前 9:00～12:00

2月12日（日） 午前 9:00～午後 4:00

専攻実技・面接（受験者）

※実技・面接の試験順序は、11日（土）午前8時30分からのガイダンス時に発表する。

※第2学年編入の試験時間は上記に準ずる。

※音楽総合コースの試験時間割は下記の通り。

2月11日(土) 午前 8:30～午後 4:30	
受付	午前 8:10～8:30
ガイダンス	8:30～
試験	
楽典	午前 9:00～ 9:50
英語	10:05～10:55
聴音	11:10～11:40
国語	午後12:35～ 1:25
数学	1:35～ 2:25
コールユーブンゲン	3:00～ 4:30
面接(保護者)	午前 9:00～12:00
2月12日(日) 午前 9:00～午後 4:00	
実技・面接(受験者)	

受験者注意事項

- (1) 入学試験は全て大学で行うので注意のこと。
- (2) 受験者は全科目を受験すること。
- (3) 試験日に登校しなかった者は入学志願を取り消したものと扱う。
(試験当日の緊急連絡先 (03) 3982-3221 大学教務二課)
- (4) 出願の際納入した受験料は返還しない。
- (5) 出願後は、専攻、受験曲目、調の変更(訂正)は認めないので、間違いのないよう、正確に記入すること。
- (6) 住所及び連絡先が変更になる場合は、試験日までに連絡のこと。
- (7) 演奏はすべて暗譜で行う。(ただし、管・打楽器のうち暗譜を必要としないものを除く)
- (8) 万一、当日の演奏が予め提出された専攻別曲目記入票に記入されている作曲者名、曲名、調名、平均律巻名、楽章等の内容と異なる場合、失格となるので注意すること。
- (9) 試験当日、災害等により入学試験に変更があった場合は、ラジオのニッポン放送にて朝6時から逐次放送を行う。
- (10) 車での来校は避けること。(駐車場の利用はできない)

一般入学試験科目と課題曲

第1学年

1 各専攻共通試験科目（音楽総合コースに関しては14頁～15頁をご覧ください）

- (1) 一般学科：「英語」、「国語・数学より1科目選択」計2科目
- (2) コールユーブンゲン：第1巻の原書番号No.24～No.41の中から試験の際1曲を指定する。
(階名唱法による)
- (3) 聴音：単旋律（8小節程度）、各専攻共通2題
- (4) 楽典：楽典一般
- (5) ピアノ副科：ピアノ、ピアノ演奏家コース及び弦・管・打楽器の志望者は受験の必要なし。
 - 声楽専攻者は、ソナチネ程度以上の曲から任意の1曲を2分以上演奏すること。（二つ以上の楽章を合わせても可）（繰り返しは自由）
※暗譜で演奏すること。
 - 作曲専攻者はバッハ：三声インヴェンション（シンフォニア）から任意の1曲及び自由曲1曲（自作品は不可）の合わせて2曲を演奏すること。
（2曲で10分以内）※暗譜で演奏すること。
- (6) 面接：受験者及び保護者

2 各専攻別試験科目（音楽総合コースを除く）

■声楽専攻

※暗譜で演奏すること。

- (1) 「コンコーネ50番」の第5番～20番までの中から任意の2曲を選ぶこと。その中から当日1曲を指定する。

※母音唱法に限る。伴奏は試験委員が受け持つ。

※専攻別曲目記入票には低声・中声・高声の別を○で囲むこと。

※指定された調以外の場合は伴奏譜を提出すること。

- (2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を1曲。

※原語に限る。

※伴奏譜は願書と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを譜めくりしやすいように製本し、表紙には必ず受験者氏名を記入すること。（コピーした楽譜は鮮明なもの、また移調譜は丁寧かつ誤りのないもの）

※伴奏は試験委員が受け持つ。

※推薦入学試験は行わない。

■器 楽 専 攻

ピアノ

※暗譜で演奏すること。

(1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻又は第Ⅱ巻より任意の1曲（フーガのみ）

(2) 次の①又は②を選択すること。

① 次の㉠～㉣の練習曲集より、任意の2曲を選択すること（異なる作曲家も可）。

㉠ チェルニー50番

㉡ クラマー・ビュロー60番

㉢ クレメンティ

㉣ モシュコフスキー Op.72

② 「ショパン練習曲集（Op.10、Op.25）」より任意の2曲を選択すること。（ただしOp.10-3、Op.10-6、Op.25-7を除く）

(3) 自由曲を1曲（7分程度）

※一部省略する場合は、その箇所を専攻別曲目記入票に記入すること。

※推薦入学試験は行わない。

ピアノ演奏家コース

※ピアノ演奏家コースの受験結果により、ピアノに合格となる場合がある。ただし、推薦入学試験においては適用されない。

※暗譜で演奏すること。

次のA課題、又はB課題を選択すること。

A課題

(1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻又は第Ⅱ巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

(2) 「ショパン練習曲集」（Op.10、Op.25）より任意の2曲
（ただし、Op.10-3、Op.10-6、Op.25-7を除く）

(3) 自由曲（**10分以上**であること。2曲の組み合わせでもよい。演奏時間を、専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B課題

自由曲（**20分以上**であること。1曲、又は数曲の組み合わせでもよい。演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

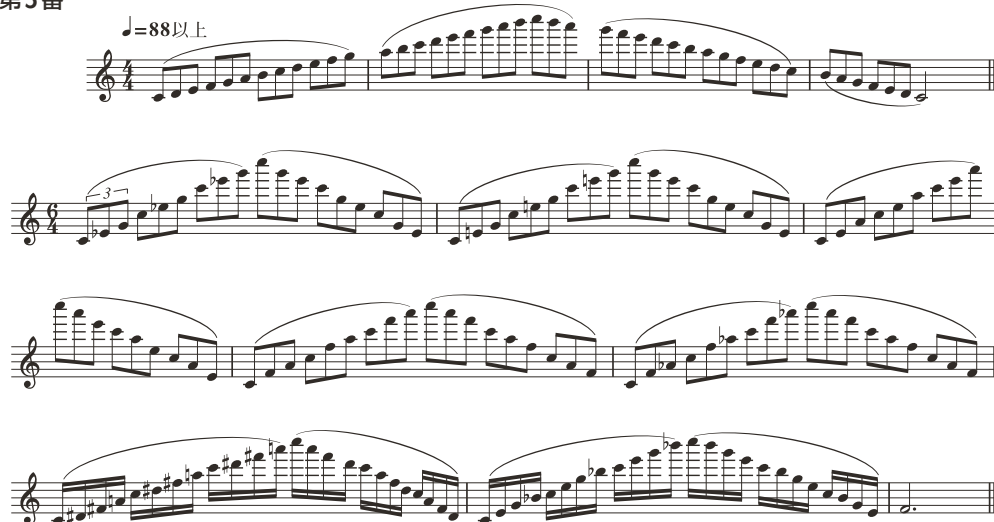
ヴァイオリン

(1) 音階：カール・フレッシュ (Carl Flesch) スケールシステムより、任意の長調又は短調を選び、第5番、6番、8番を演奏する。ただし第5番は冒頭より12小節を演奏する。スラーとリズムはC-durに準ずる。第6番、8番は各々冒頭より4小節を演奏する。スラーは16分音符4個（一拍）とする。運指は指定しない。速度は下記の通りとする。

※8番は6番に準ずる

第5番

♩ = 88以上



第6番

♩ = 88以上



(2) 練習曲：クロイツェル、ローデ、パガニーニ又はこれらと同等の練習曲や、カプリスの中より任意の1曲を演奏する。

(3) 次の①～④よりいずれか任意の1曲を選択する。（カデンツァを含む）

① ブルッフ 協奏曲第1番 Op.26 g-moll 第1楽章又は最終楽章

② ラロ スペイン交響曲 Op.21 d-moll 第1楽章又は最終楽章

③ (3)の①・②と同程度もしくはそれ以上のレベルの協奏曲から1曲を選択し、その中の第1楽章又は最終楽章を演奏する。（モーツァルト又はバロック時代の協奏曲も可）

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

※なお、ヴィオラ演奏に関し適性ありと認め得る場合、ヴィオラに合格となる場合がある。ヴィオラへの転専攻入学に同意する受験者は、入学願書の「ヴィオラへの転専攻（○で囲む）」欄の「同意する」を○で囲むこと。ただし、推薦入学試験においては適用されない。

ヴィオラ

- (1) 音階：カール・フレッシュ（Carl Flesch）スケールシステムより、任意の長調又は短調を選び、第5番、6番を演奏する。ただし第5番は冒頭から12小節のみ、第6番においては4小節のみとする。スラー、運指及び弓使いは指定しない。
- (2) 自由曲を1曲
 - ※暗譜で演奏すること。
 - ※伴奏はなし。
 - ※ヴァイオリンで受験も可。課題曲はヴァイオリンに同じとする。この場合、受験票の第1志望の欄にヴィオラと記入すること。

チェロ

- (1) 3オクターヴの音階（任意の長調、短調の両方を4音を一弓で演奏すること）
- (2) 任意のエチュードを1曲
- (3) 次の①・②よりひとつを任意に選択する。
 - ① 任意のチェロ協奏曲より第1楽章又は最終楽章
 - ② 任意の古典ソナタより第1楽章及び第2楽章
（ただしバッハの無伴奏組曲を除く）

※推薦入学試験の場合、(2)のエチュードは、次の6曲の中から1曲を選択する。

ドッツアウアー 113 チェロ練習曲集より
(DOTZAUER 113 VIOLONCELLO ETÜDEN)
第65番
第73番

シュレーダー 170 チェロ練習曲集より
(ALWIN SCHROEDER 170 FOUNDATION STUDIES For Violoncello)
第135番 シュレーダー Op. 45-2
第138b番 メルク Op. 11-4
第167番 ピアッティ Op. 25-3
第168番 ピアッティ Op. 25-8

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

コントラバス

- (1) 任意の調の2オクターヴの音階
- (2) 自由曲を1曲（エチュードも可）
 - ※暗譜で演奏すること。
 - ※伴奏はなし。

ハーブ

(1) ボクサ作品318の「40番練習曲」から任意の1曲

(2) 自由曲を1曲

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

クラシックギター

(1) カルカッシ又はソルの練習曲の中から任意の1曲

(2) 自由曲を1曲

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

《管楽器志望者への特例》

① ファゴット志望者は他の管楽器での受験も可。その場合、課題曲は受験楽器のものとする。ただし、願書の第1志望の欄にファゴットと記し、続けて（ ）内に受験楽器を記入すること。

② ファゴット以外の楽器の志望者が、志望楽器で入学を許可されない場合でも、ファゴットへの転専攻を条件に入学を許可することがある。この場合、入学願書の「ファゴットへの転専攻（○で囲む）」欄の「同意する」を○で囲み、志望楽器で受験すること。

③ 入学後にファゴットに転専攻する場合は、高校在学中は楽器を貸与する。なお、上記①②とも推薦入学試験には適用されない。

フルート

(1) 次の音型によって音階及び分散和音を演奏すること。

調性、スラーの有無は当日指定。演奏は暗譜で行うこと。(♩ ≒ 80～90)

長調

短調

- (2) E. Koehler / Twelve Medium Difficult Exercises op. 33 Book II
 (E. ケーラー著 12の中級の練習曲 作品33 第2巻) よりNo.10
 演奏箇所は当日指定する
- (3) Carl Stamitz / Concerto Gdur より第1楽章
 カデンツァは含まない。
 演奏箇所は当日指定する
 ※音階課題以外は、暗譜の必要はない。
 ※伴奏はなし。

オーボエ

- (1) 音階：次のA、Bいずれかの音型によって、長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定。演奏は暗譜で行うこと。

A例



ユーフォニアム

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること。
- (2) /Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet/の12の幻想曲とアリアより第4番Tyrolean Songの主題と変奏曲I・II（暗譜の必要はない）
※トロンボーンで受験も可。課題曲はトロンボーンに同じとする。この場合、願書の志望の欄にユーフォニアムと記入すること。
※伴奏はなし。

打楽器

小太鼓又はマリンバによって受験すること。（願書の志望専攻名欄に打楽器（小太鼓）、打楽器（マリンバ）のいずれかを記入すること）

【共通課題】 日本語で、「1. 2. 3. 4」と4拍分、声に出してカウントしてから演奏のこと。

♩ = 60

(A) 小太鼓

- (1) 二つ打、五つ打、ロール
- (2) 任意の独奏曲又は練習曲1曲（暗譜の必要はない）
- (3) 共通課題のリズム打

(B) マリンバ

- (1) 2オクターヴの長音階と短音階と分散和音（調性は当日指定）
- (2) 任意の独奏曲又は練習曲1曲（暗譜の必要はない）
- (3) 小太鼓による共通課題のリズム打

※伴奏はなし。

■作曲専攻

- (1) 和声：転調及び非和声音を含まないバス課題
- (2) 作曲：与えられた動機による楽曲の創作
※ (1) (2) 合わせて3時間

3 併願の試験科目について（音楽総合コースを除く）

第1学年入学志願者のうち、第一志望のほか特に希望する者は第二志望として、声楽又は打楽器を併願することができる。ただし、ピアノ演奏家コースの志望者は併願することができない。また、第二志望のみの受験は認めない。

併願者は、願書提出の際「志望専攻名」欄に志望順を明記すること。

併願の専攻については、各専攻別試験科目だけの受験でよい。

ただし、次の組み合わせについては、下記の指示に従って受験すること。

第一志望	→	第二志望
器楽専攻：弦・管・打楽器		声楽専攻

各専攻別試験科目のほかに、各専攻共通試験科目のピアノ副科についても受験しなければならない。

4 音楽総合コース

(1) 一般学科：「英語」、「国語」、「数学」計3科目

(2) ソルフェージュ：「コールユーブンゲン」、「聴音」より1科目選択

●コールユーブンゲン：第1巻の原書番号No.24～No.41の中から試験の際1曲を指定する。（階名唱法による）

●聴音：単旋律（8小節程度）2題

(3) 楽典：楽典一般

(4) 実技：ピアノ、その他の器楽（弦楽器、管・打楽器）、声楽、作曲の中から1つ選択する。課題曲はすべて自由曲とする。

作曲で受験する場合は、与えられた動機による楽曲の創作（3時間以内）

※課題の詳細は次頁を参照のこと。

※推薦入学試験は行わない。

(5) 面接：受験者及び保護者

音楽総合コース 受験課題曲(自由曲)について

◎ 声楽で受験する場合：

下記のA、Bの両方から選曲すること。

A. 「コンコーネ 50 番」の第1番～10番までの中から任意の1曲。

B. 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を1曲。原語のみとする。演奏時間は合計6分以内。暗譜のこと。伴奏譜は願書とともに提出すること。※伴奏は試験委員が受け持つ。

◎ ピアノで受験する場合：

※暗譜で演奏すること。

自由曲(7分程度・複数曲も可)

◎ 弦楽器で受験する場合：

1. ヴァイオリンの場合は自由曲(コンツェルト、ソナタ等)※クロイツェル、ローデ、パガニーニ等の練習曲も可。暗譜のこと。伴奏なし。

2. その他の弦楽器の場合は、事前に必ず本校に問い合わせた上で、確認を得ること。暗譜のこと。伴奏なし。

◎ 管・打楽器で受験する場合：

いずれの楽器の場合も、エチュードを含む自由曲とする。演奏時間は5分以内。暗譜の必要はない。伴奏なし。

◎ 作曲で受験する場合：

指定された「与えられた動機による楽曲の創作」(3時間以内)とする。

第2学年編入（器楽：ピアノ演奏家コース・エクセレンス、音楽総合コースは募集しません）

1 各専攻共通試験科目

- (1) 一般学 科：「英語」、「国語・数学より1科目選択」計2科目
- (2) コールユーブンゲン：第1巻の原書番号No.24～No.51の中から試験の際1曲を指定する。
（階名唱法による。移動ド唱法または固定ド唱法のいずれでも可）
- (3) 聴 音：単旋律（8小節程度）、各専攻共通2題
- (4) 楽 典：楽典一般
- (5) ピアノ副科：ピアノ、ピアノ演奏家コース及び弦・管・打楽器の志望者は受験の必要なし。
 - 声楽専攻者は、ソナチネ程度以上の曲から任意の1曲を2分以上演奏すること。（二つ以上の楽章を合わせても可）（繰り返しは自由）
※暗譜で演奏すること。
 - 作曲専攻者はバッハ：三声インヴェンション（シンフォニア）から任意の1曲及び自由曲1曲（自作品は不可）の合わせて2曲を演奏すること。（2曲で10分以内）※暗譜で演奏すること。
- (6) 面接：受験者及び保護者

2 各専攻別試験科目

■声 楽 専 攻

※暗譜で演奏すること。

- (1) 「コンコーネ50番」の第21番～30番までの中から任意の2曲を選ぶこと。その中から当日1曲を指定する。
 - ※母音唱法に限る。伴奏は試験委員が受け持つ。
 - ※専攻別曲目記入票には低声・中声・高声の別を○で囲むこと。
 - ※指定された調以外の場合は伴奏譜を提出すること。
- (2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を1曲。
 - ※原語に限る。
 - ※演奏時間は（1）と（2）の合計（曲間含む）で7分以内とする。
 - ※伴奏譜は願書と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを譜めくりしやすいように製本し、表紙には必ず受験者氏名を記入すること。（コピーした楽譜は鮮明なもの、また移調譜は丁寧かつ誤りのないもの）
 - ※伴奏は試験委員が受け持つ。

■器 楽 専 攻

ピアノ

※暗譜で演奏すること。

(1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻又は第Ⅱ巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

(2) 次の①又は②を選択すること。

① 次の㊶～㊸の練習曲集より、任意の3曲を選択すること（異なる作曲家も可）。その中から当日指定する。

㊶ チェルニー50番

㊷ クレメンティ

㊸ モシュコフスキー Op.72

② 「ショパン練習曲集（Op.10、Op.25）」より任意の2曲を選択すること。（ただしOp.10-3、Op.10-6、Op.25-7を除く）

(3) 自由曲を1曲（7～8分程度）

※一部省略する場合は、その箇所を専攻別曲目記入票に記入すること。

ピアノ演奏家コース

※ピアノ演奏家コースの受験結果により、ピアノに合格となる場合がある。

※暗譜で演奏すること。

次のA課題、又はB課題を選択すること。

A課題

(1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻又は第Ⅱ巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

(2) 「ショパン練習曲集」（Op.10、Op.25）より任意の2曲

（ただし、Op.10-3、Op.10-6、Op.25-7を除く）

(3) 自由曲（**10分以上**であること。2曲の組み合わせでもよい。演奏時間を、専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B課題

自由曲（**20分以上**であること。1曲、又は数曲の組み合わせでもよい。演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

下記については第1学年受験の場合と同じ。

■ 器楽専攻：弦楽器、管楽器、打楽器 ■ 作曲専攻

■ 併願の試験科目について

合格者発表

2月13日(月) 午後2時 東京音楽大学にて受験者に書面で通知する。

※電話による問い合わせには応じない。

※合格者は事務局で受験票を提出し、合格証及び入学手続の書類を午後3時まで受け取る。

入学手続

合格者は、2月20日(月)(消印有効)までに下記書類を郵送すること。学費については、2月20日(月)までに必ず銀行振込で納入すること。

- (1) 誓約書(本校所定) ————— 1通
- (2) 住民票又は住民票記載事項証明書 ————— 1通
- (3) その他必要書類

学 費

・入 学 金	—————	120,000円
・授 業 料	—————	(年額) 458,000円 (前後期分納可)
・維 持 費	—————	(年額) 80,000円
・施設拡充費	—————	(年額) 100,000円
・冷暖房費	—————	(年額) 10,000円
・函 書 費	—————	(年額) 8,000円
・演奏会費	—————	(年額) 8,000円
・健康管理費	—————	(年額) 5,000円
合 計	—————	789,000円
(入学時分納の場合) ————— 560,000円		
※上記以外の諸費用		
・校外学習費(入学時)	—————	48,000円
・後援会費(年額)	—————	12,000円
・卒業記念費(卒業時)	—————	8,000円

※ほかに本校指定の制服、給食、教材、教科書等の各費用を必要とする。

※3月5日(月)午後3:00までに入学辞退を申し出てその手続をした場合は、入学金を除く納付金を返還する。それ以後の辞退については一切返還しない。

奨学金制度について

東京音楽大学附属高等学校では、日本学生支援機構奨学金、その他地方公共団体等独自の奨学金制度のほか、特に、次の種類の奨学金が設けられている。

1. 給費入学奨学金（新入生対象）
2. 特待生奨学金（2・3年生対象）
3. 留学生特別奨学金

■給費入学奨学金

(1) 種別

1. 特別：実技が極めて優秀であり、学科、人物ともに優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者。
2. 甲種：実技、学科ともに優秀であり、人物も優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者。
3. 乙種：実技が優秀であり、人物も優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者。

(2) 選考 全合格者を対象に入学試験成績により選考を行う。

学生寮（女子）について

1. 申込方法

入寮希望者は、巻末の「平成24年度東京音楽大学目白台学生寮入寮申込書」に必要事項を記入のうえ、出願の際に入学願書とともに郵送すること。

※入寮申し込みの際には、必ず入寮案内（大学学生課で配布）で詳細を確認すること。

2. 選考

入寮可能人数内で成績及び通学距離等を考慮のうえ決定する。（遠隔地出身者が優先される）

3. 発表・手続

- (1) 入寮許可者の発表は、一般入学試験合格者発表時に行う。
- (2) 入寮を辞退する場合は、3月5日（月）までに申し出ること。
- (3) 詳細は発表と同時に発送する入寮手続書類を参照すること。
- (4) 不明な点は、大学学生支援課（03-3982-4327）まで問い合わせること。

教育充実協力金について

本校では、教育施設及び設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様にご寄付をお願いしております。

ご寄付は原則として任意でございますが、一口10万円で1口以上のご協力をよろしく願いたします。なお、協力金に関する資料は入学許可後にお渡しいたします。

推薦入学試験

募集人員

第1学年————— 10名(男女)

募集専攻

器楽	ピアノ演奏家コース	器楽	フルート	器楽	トロンボーン
	ピアノ演奏家コース・エクセレンス		オーボエ		チューバ
	ヴァイオリン		クラリネット		ユーフォニアム
	ヴィオラ		ファゴット		打楽器
	チェロ		サクソフォーン	作曲	
	コントラバス		ホルン		
	ハープ		トランペット		
	クラシックギター				

※声楽、器楽：ピアノ、音楽総合コースは募集しない。

出願資格

次の1～4のすべてに該当し、かつ音楽的資質に特に優れている者

1. 平成24年3月に中学校卒業見込みの者に限る
2. 本校を第一志望とし、出身中学校長の推薦がある者
3. 中学校3年間の9教科の評定(5段階評価)平均が3.2以上の者
4. 実技指導者の推薦がある者

願書提出

1. 受付期間

平成24年1月18日(水)から1月20日(金)まで

(受付時間：午前9：00～午後3：00)・(受付場所：東京音楽大学附属高等学校)

願書を郵送するときは、1月20日(金)までに必着のこと。

その際、推薦入学試験・入学願書郵送用封筒を参照のこと。

2. 出願手続

出願先：東京音楽大学附属高等学校入試係

〒112-0014 東京都文京区関口3-12-1

下記の書類を高校入試係に提出すること。提出者には受験票を交付する。(郵送による出願の場合は、受領した旨を入試係より受験生へ電話で確認し、推薦入学試験当日(1月22日)に受付にて受験票を交付する。)

[問い合わせ先] 入試係：TEL (03) 3945-6214 (直通)

なお、来校して出願手続をする場合、推薦入学試験・入学願書在中の郵送用封筒の提出は不要。受験料20,000円は郵便局にて「払込取扱票・振替払込請求書兼受領証」により納金し、「振替払込請求書兼受領証」を受領し、願書の「振替払込請求書兼受領証貼付欄」に貼り付けること。(「振替払込請求書兼受領証」のコピーでも可)

- (1) 入学願書(推薦入学試験)・受験票・振替払込請求書兼受領証(本校所定)
- (2) 出身中学校長による推薦書(本校所定)
- (3) 出身中学校において作成する調査書(本校所定)
- (4) 実技指導者による推薦書(本校所定)
- (5) 写真(3か月以内に撮影した正面上半身脱帽、縦4cm、横3cmのもの。カラー又は白黒いずれでも可、願書と受験票にそれぞれ貼付すること)
- (6) 専攻別曲目記入票(推薦入学試験)(本校所定)
作曲専攻の専攻実技は全て指定課題なので提出不要。一部の管楽器についても、同様に提出不要の楽器がある。詳しくは専攻別曲目記入票欄(巻末)を参照すること。

※個人情報の取扱いについて：一般入学試験要項(3頁参照)に同じ

入 学 試 験

試験場：東京音楽大学(豊島区南池袋3-4-5)

- (1) 期 日 平成24年1月22日(日)
- (2) 選考方法
 - 専攻実技試験(ピアノ副科は課さない)
 - 面接(受験者及び保護者)
- (3) 課題曲 ピアノ演奏家コース・エクセレンス以外は一般入学試験要項に同じ。(6頁～13頁を参照のこと) ただし、第一志望のみで、併願は認めない。
ピアノ演奏家コース・エクセレンスについては以下のとおり。

ピアノ演奏家コース・エクセレンス

※試験の結果によりピアノ演奏家コースになる

※暗譜で演奏すること

次の(1)～(5)をあわせて**60分以上**にプログラムすること。

- (1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻または第Ⅱ巻より任意の1曲。
(プレリュードとフーガ)
- (2) 「ショパン練習曲集」(Op.10、Op.25)より、任意に3曲を選択すること。
ただし、Op.10-3、Op.10-6、Op.10-9、Op.25-2、Op.25-7を除く。
- (3) 次の練習曲集の中から、任意に1曲を選択すること。
 - ① リスト「超絶技巧練習曲」または「パガニーニ大練習曲」
 - ② ドビュッシー
 - ③ スクリャービン(Op.8、Op.42、Op.65)
 - ④ ラフマニノフ
- (4) 古典派のソナタより任意の1曲(全楽章)
- (5) 自由曲
ロマン派及び近現代の作品から自由選択

各専攻の集合時間と試験時間

1月22日(日)	器楽：ピアノ演奏家コース ピアノ演奏家コース・エクセレンス		作 曲	器楽：弦楽器	器楽：管楽器・打楽器
受 付	9:00	12:00	9:00	9:00	13:00
集合・ガイダンス	9:15	12:15	9:15	9:15	13:15
専 攻 実 技	10:30	13:00	10:00	10:00	14:00
面 接	保護者：ガイダンス終了後		受験者：実技試験終了後		

(1) 試験当日、受験者は保護者と共に登校し、各専攻ごとに定められた集合時刻までに受け付けを済ませること。(受付場所：J館1Fロビー)

登校の際、受験票(郵送による出願の場合は当日交付)、筆記用具を持参すること。

昼食は学内食堂を利用できるが、混雑が予想されるので、なるべく持参すること。

(2) 実技・面接の試験順序は、ガイダンス時に発表する。

受験者注意事項

一般入学試験要項(5頁参照)に同じ。

合格者発表

1月23日(月) 午後2時 東京音楽大学J館2Fロビー

※電話による問い合わせには応じない。

※合格者は事務局で受験票を提出し、合格証及び入学手続の書類を午後3時までに受け取ること。

入学手続

合格者は、1月28日(土)(消印有効)までに下記書類を郵送すること。学費(一般入学試験要項18頁を参照)については、1月27日(金)までに必ず銀行振込で納入すること。

- (1) 誓約書(本校所定) _____ 1通
- (2) 住民票又は住民票記載事項証明書 _____ 1通
- (3) その他必要書類

奨学金制度について

(19頁を参照のこと)

■給費入学奨学金

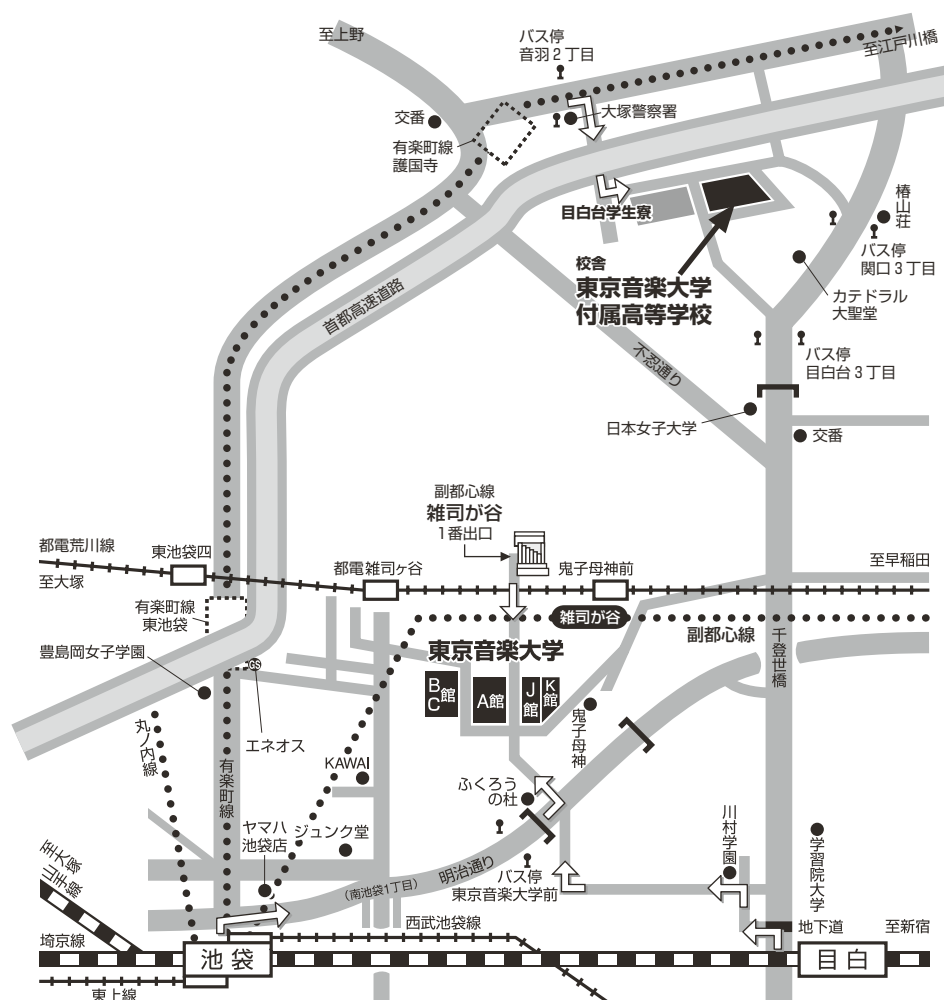
学生寮(女子)について

(19頁を参照のこと)

教育充実協力金について

本校では、教育施設及び設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様にご寄付をお願いしております。ご寄付は原則として任意でございますが、一口10万円で1口以上のご協力をよろしくお願いいたします。なお、協力金に関する資料は入学許可後にお渡しいたします。

東京音楽大学附属高等学校・東京音楽大学 案内図



試験場

東京音楽大学
東京都豊島区南池袋 3-4-5
TEL. (03) 3982-3186 (代)

JR = 池袋・目白駅より徒歩約15分
東京メトロ = 丸ノ内線・有楽町線 池袋駅東口より徒歩約15分
副都心線 雑司が谷駅下車1番出口より徒歩5分

西武池袋線・東武東上線 = 池袋駅より徒歩約15分
都電 = 鬼子母神前より徒歩5分
バス = 東京音楽大学前より徒歩3分

校舎

東京音楽大学附属高等学校
東京都文京区関口 3-12-1
TEL. (03) 3945-6214~5

池袋駅から東京メトロ 有楽町線 護国寺駅下車
講談社出口より徒歩5分



東京音楽大学 附属高等学校

〒112-0014 東京都文京区関口3-12-1
TEL.03-3945-6214~5 FAX.03-3945-0570
URL : <http://www.tcm-koko.ed.jp>
e-mail : fuzoku_koko@tcm-koko.ed.jp